



## いつかくるその日のために

日曜日は女子バスケ部の試合だった。インターハイの予選で、3年生にとっては最後の大会となる。つまり、「負ければ引退」という試合である。

\*

日比谷では、2年生の秋の大会で引退する部もあれば、3年のこのインターハイ予選が最後という部もある。野球部は、夏の甲子園予選大会まで活動するし、ラグビー部は秋の大会まで活動している。文化部では、例えばオケ部は2年の10月の演奏会が最後となるようだが（12月の地区の演奏会まで活動する人もいるらしい）、その10月の演奏会を3年生は裏方として支える。

そう考えてみると、部活に精力を注げる期間は、それほど長いという訳ではない。だからこそ、その短い期間を充実したものにしてもらいたいと思うのである。

よく、勉強と部活の両立（さらに前期なら行事まで入るから「鼎立」！とも言える）が問題となるが、いよいよ本格的に部活が始まると、それがなかなか困難な課題であることが分かるに違いない。誤解を恐れずあえて言えば、まずは部活にしっかり取り組んでほしいと個人的には思う。

しかし、これはもちろん「勉強はイイ加減でよい」という意味ではない。両立（鼎立）は目指すべき（「須らく〜べし」）であるし、それを目指しているからこそ、部活も勉強も充実するのではないかと思うのだがどうだろう？（あくまで理想だが…）。

例えば、「部活をしっかりやる、そのために、短い時間に集中して勉強する」とか、「部活で疲れて眠い時は思い切って早寝して、そ

の分早起きして勉強する」とか、そういう発想で両立（鼎立）を目指してほしいと思うのである。ちなみに、疲れてウトウトしながら勉強するのが一番捗らないということは、もう経験的に分かっているはずだ。そういう時は思い切って寝てしまおう。ただし、いつもの起床時間まで寝ていたら、予習・復習が間に合わなくなるのは必定である。必ずいつもよりも早い時間に「目覚まし」をかけること。そして、そのためには、自分で起きられるようになることも大切だ。個人面接でも聞いたが、未だに父・母（弟・妹！）に起こされているという人は、そろそろそれを卒業すべきだ。受験勉強や以後の生活のことを考えても、起床時間を自分でコントロールできるようになることは「人間としての基本」である！

\*

…と、つい力が入ったが（笑）、話を元に戻すと、残念ながら女子バスケ部は試合に負けてしまった。3年生は引退である。

部活を始めたばかりの君たちに言うのも何だが、君たちにも、必ずいつか引退の 때가やってくる。それは仕方のないことだ。しかし、だからこそ、それまでの時間を、悔いのないように活動してほしいと思うのである。いつか引退の時を迎えた時に、（もちろん試合に負けた時は悔しいだろうが）「やるだけのことはやりきった！」という気持ちになれるように、これからの時間を充実させてほしいと願うのである。

部活を充実させる、そのために、勉強も充実させる。そんな、忙しいけれど、毎日が輝くような日々を送ってほしいものである。